

茨城県衛生研究所
平成 31(令和元)年度評価書

令和 2 年 1 1 月
茨城県衛生研究所
評価委員会

【様式6】

□総合評価

評価： AA(3.5) 試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において優れたパフォーマンスを実現していると判断できる。

基盤業務である試験検査に加え、多岐にわたる業務に積極的に取り組んでいる中で、継続的な人材育成・技術向上に努めており高く評価できる。また、限られた人員の中、新型コロナウイルスの検査を始めとして、県民ニーズに的確に応えられるよう組織全体で努力している点も大いに評価できる。

一方で、定期人事異動とはいえ調査研究の担当者が変わることで、研究の継続性が失われないか気掛かりである。健康危機管理の拠点として不測の事態に備えるためには、機器整備に加えて、人員確保、調査研究費の確保、外部研究機関と連携した人材育成に一層努力することが重要である。

また、様々な知識レベルの県民がそれぞれ欲しい情報にアクセスできるよう、ホームページの更なる改良を期待する。

□項目別評価

i) 県民に対して提供する業務

1) 調査研究

評価： A

①茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究

全国的に問題になっている梅毒感染拡大に対する的確なデザインによる疫学研究を進展させ、患者増加の要因解析の一助として貴重な調査であった。医療機関への情報提供や、感染リスクの高い人への注意喚起に役立ててほしい。

本研究から、風俗関係が起点となる結果が得られていることから、関係団体等と協力し、風俗店への更なる調査の検討を期待する。

②茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究

カルバペネム耐性菌からの薬剤耐性遺伝子の検出実態が明らかとなり、医療機関へ提供する重要な情報である。茨城県の薬剤耐性対策として高く評価できる。

今後、細菌検査を外注している医療機関と連携するなど、解析株数を増やし、さらなる研究発展を望みたい。

2) 試験検査

評価： AA

試験検査を確実に実施し、特に年度末からの新型コロナウイルス感染症の流行に伴う検査数増加にも対応し得たことは、大いに評価される。県内の医療機関から高い評価・信頼を得ており、県民の健康に密接に関わる業務であるため、引き続き正確かつ迅速な検査の実施を希望する。

感染症の検査数は今後さらに増える予想するため、技術系職員の人材育成・配置や検査機器の整備、品質保証体制の整備、精度管理に努める必要がある。

3) 相談業務

評価： A

保健所や医療機関からの要望に対応し、各方面からの相談業務を効率よく実施した。特に、年度末から新型コロナウイルス感染症への対応が急増したと考えられるが、ホームページに掲載しているグラフ情報は分かりやすく、適切な情報提供を評価できる。

県の健康危機管理対策の拠点として、保健所や医療機関の専門的な相談に応じ、適切な助言ができるよう更なる人材確保が必要である。

4) 研究成果等の活用促進

評価： AA

国際英文誌へ質の高い論文を公表しているほか、学会誌等への成果公表、学会・研究会での発表を精力的に行い、数値目標をはるかに上回る実績を残しており、高く評価できる。複数年継続した傾向であり、研究が充実していることが分かる。新しい知見に関して、全国に向けた情報発信をさらに増やしてほしい。

5) 外部人材育成、教育活動

評価： A

保健所や医療機関を対象に研修会を着実に実施し、特にタイムリーなテーマの専門的研修は保健所職員の参加を促し、高く評価できる。また、地域保健実習や研修医研修を積極的に受け入れ、若い医療関係者の公衆衛生マインドの醸成、人材育成に貢献している。

6) 広報・普及啓発

評価: AA

ホームページの閲覧回数が県でトップランクになるなど、県民からの認知度が着実に上がり、ニーズに沿った情報提供を行っている。出前講座・研修会も積極的に開催し、県民意識の醸成に大きく貢献していると評価できる。
インターネットやSNSなど様々な情報が錯綜するなかで、信頼できる質の高い情報をわかりやすく県民に提供できるよう更に工夫を凝らしてほしい。

ii) 業務の質的向上、効率化のために実施する方策

1) 全体マネジメント

評価: AA

機器整備を計画通り行い、品質保証体制の整備も進んでいる。また、所内の様々なレベルで情報共有や意見交換が活発に行われており、研究の促進だけでなく、職場環境の改善にも取り組んでいることは評価できる。
新たな感染症への対応など県民のニーズに対応し、健康危機管理の拠点としての役割を十分果たすため、更なる人材確保に努める必要がある。

2) 県民ニーズの把握

評価: A

会議や研修会における保健所や関係機関との意見交換や、研修会やアンケートによる県民の認識調査を行い、ニーズの把握に積極的に取り組んでいる。特に、茨城県薬剤耐性対策推進会議を発足させるなど、新たな活動を開始しており評価できる。

3) 他機関との連携

評価: AA

国立感染症研究所、県内外の医療系大学及び他県の衛生研究所と連携して共同研究・研究協力を積極的に行い、調査研究業務の体制強化及び職員の意識強化を図り、質の向上に努めた点が高く評価できる。
健康危機管理事案への対応能力を高めるためにも、外部研究機関等との連携に一層努力することが必要である。

4) 調査研究費の獲得

評価: A

特別電源所在県科学技術振興事業補助金を着実に獲得し、研究発展に活かしていることは高く評価できる。調査研究費を獲得して、多角的に研究に取り組むことで、大学等外部研究機関との連携を深め、健康危機管理事案の発生に対する機動力を備えることが可能になると考える。
今後、その他の研究費についても積極的に応募されることを期待する。

5) 内部人材育成

評価: AA

若手研究員への実務研修のほか、学会・研修会に積極的に参加し、参加者が研修内容を伝達講習するシステムが順調に回っており、研究員の意識と技術力の向上が図られた点で高く評価できる。また、社会人大学院制度を積極的に活用し、着実に人材育成を行っている。
今後も継続的、積極的に実施することが重要である。

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
i) 県民に 対して 提供す る業 務	1) 調査研究	A	A	○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成
	2) 試験検査	AA	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
		A	A	○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成
3) 相談業務	A	A	○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成	

試験項目	件数 (R1 年度実績)	衛生研究所 担当部
食肉の試験検査	120検体	細菌部
農産物漬物の試験検査	25検体	細菌部
	25検体	理化学部
輸入食品の試験検査	113検体	細菌部
	159検体	理化学部
夏期及び年末食品一斉取締りに係る食品の試験検査	261検体	細菌部
認定小規模食鳥処理場微生物検査	133検体	細菌部
県内産魚介類の寄生虫検査	5検体	細菌部
水道水質調査事業に伴う試験検査	10検体	細菌部
感染症流行予測調査事業に伴う試験検査	674検体	ウイルス部
蚊の生息状況調査	6回	ウイルス部
二枚貝中のノロウイルスの試験検査	5検体	ウイルス部
県内流通医薬品等の試験検査	50検体	理化学部
後発医薬品の試験検査	15検体	理化学部
医療機器の試験検査	2検体	細菌部
	2検体	理化学部
無承認無許可医薬品の試験検査	51検体	理化学部
家庭用品の試買試験検査	151検体	理化学部
指定薬物等の試験検査	10検体	理化学部
食品の残留農薬試験検査	99検体	理化学部
遺伝子組換え食品の試験検査	10検体	理化学部
食品添加物の試験検査	134検体	理化学部
加工食品の放射性物質試験検査	102検体	理化学部
水道水の放射性物質試験検査	131検体	理化学部

試験項目	件数 (R1 年度実績)	衛生研究所 担当部
感染症法に基づき届出に伴う疾患の試験検査	依頼なし	細菌部
	1,435検体	ウイルス部
感染症の発生の状況及び動向の把握に伴う試験検査	依頼なし	細菌部
	180検体	ウイルス部
感染症の発生予防及びまん延防止に伴う試験検査	1,326検体	細菌部
	590検体	ウイルス部
結核対策予防事業に伴う試験検査	86検体	細菌部
保健所および衛生研究所に勤務する職員のB型肝炎検査	110検体	ウイルス部
水戸、土浦及び竜ヶ崎保健所における HIV 即日検査	591検体	ウイルス部
犬の狂犬病検査	依頼なし	ウイルス部
化学物質に係る試験検査	依頼なし	理化学部
	1,095検体	細菌部
食中毒及び苦情食品に伴う試験検査	746検体	ウイルス部
	1検体	理化学部
レジオネラ菌防止に伴う試験検査	37検体	細菌部
イノシシ肉の放射性物質検査	18検体	理化学部

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																												
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																											
i) 県民に対して提供する業務	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>○今年度も当所研究員が筆頭著者として学術誌に投稿し、掲載された。 また、機関誌等への投稿、学会等での発表及びホームページに掲載することにより、積極的に成果の活用・普及促進に努めた。</p> <p>【実績】学会・研修会での発表：19回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発表題目</th> <th>学会・研修会等名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茨城県内におけるムンプスウイルスの検出状況について</td> <td>地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会</td> </tr> <tr> <td>茨城県庁舎内における風しん集団発生事例の概要について</td> <td>地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会</td> </tr> <tr> <td>茨城県で分離された <i>Campyobacter jejuni</i> (<i>C. jejuni</i>) における Lipooligosaccharide (LOS) class 解析</td> <td>地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会</td> </tr> <tr> <td>2012/2018 シーズンの茨城県内におけるノロウイルスの分子疫学</td> <td>第 52 回茨城県公衆衛生獣医師協議会</td> </tr> <tr> <td>二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析</td> <td>第 47 回茨城県食品衛生業務業績発表大会</td> </tr> <tr> <td>二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析</td> <td>全国食品衛生監視員協議会第 59 回関東ブロック研修大会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における急性脳炎の病原体検索に関する取り組みと検出状況</td> <td>第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について</td> <td rowspan="2">第 78 回日本公衆衛生学会総会</td> </tr> <tr> <td>結核菌分子疫学解析による地域内感染経路把握への取り組み</td> </tr> <tr> <td>二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析</td> <td>令和元年度全国食品衛生監視研修会</td> </tr> <tr> <td>2012/2018 シーズンの茨城県内におけるノロウイルスの分子疫学</td> <td>平成 30 年度関東・東京合同地区獣医三学会</td> </tr> <tr> <td>ヒトパレコウイルス 3 型カプシドタンパク質 VPO に対するモノクローナル抗体の作製及び特異的検出法の構築</td> <td>第 62 回日本感染症学会中日本地方会学術集会</td> </tr> <tr> <td>食品に含まれるヒスタミンの迅速分析法の検討</td> <td>第 30 回茨城県薬剤師学術大会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について</td> <td>令和元年度茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議</td> </tr> <tr> <td>精神科病院結核集団感染事例における全ゲノム解析の実施</td> <td>第 31 回日本臨床微生物学会総会・学術集会</td> </tr> <tr> <td>茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について</td> <td rowspan="3">令和元年度保健と福祉の事例発表会</td> </tr> <tr> <td>茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) の検査実施状況について</td> </tr> <tr> <td>小児の重症呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析について</td> </tr> <tr> <td>茨城県内の VNTR 型別実施状況 ～外国籍患者由来を中心に～</td> <td>令和元年度結核対策推進担当者連絡会議</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】学会誌等への投稿：5本</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>原着論文・機関誌等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Variation of human norovirus G II genotypes detected in Ibaraki, Japan, during 2012-2018. Gut Pathogens. Motoya T, Umezawa M, Saito A, Goto K, Doi I, Fukaya S, Nagata N, Ikeda Y, Okayama K, Aso J, Matsushima Y, Ishioka T, Ryo A, Sasaki N, Katayama K, Kimura H. May 2019</td> </tr> <tr> <td>Molecular Evolution of the Protease Region in Norovirus Genogroup II. Frontiers in Microbiology. (共著) Ozaki K, Matsushima Y, Nagasawa K, Aso J, Saraya T, Yoshihara K, Murakami K, Motoya T, Ryo A, Kuroda M, Katayama K, Kimura H. January 2020</td> </tr> <tr> <td>急性脳炎の病原体検索に関する地衛研の取り組み～茨城県～：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.40, No.6 (No.472) 後藤慶子 2019年6月</td> </tr> <tr> <td>二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析：令和元年度茨城県県立試験研究機関成果集 本谷匠</td> </tr> <tr> <td>茨城県における小児の呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析：令和元年度茨城県県立試験研究機関成果集 齋藤葵</td> </tr> </tbody> </table> <p>○行政施策を科学的・技術的側面より支援できるよう積極的に調査研究に努めた。 ・「茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究」等において、同医療機関から同時期に IMP 型のカルバペネマーゼ遺伝子が2株から検出されたため、パルスフィールドゲル電気泳動法による分子疫学解析を実施した。その結果、バンドパターンに類似性がなかったため、院内感染の疑いを早期に払拭した。 ・「茨城県における結核菌分子疫学解析に関する研究」では、VNTR 型別一致のクラスター事例について次世代シーケンサーを用いて全ゲノム解析し、微細な違いを検出・比較することで、感染伝播状況を推察した。</p>	発表題目	学会・研修会等名	茨城県内におけるムンプスウイルスの検出状況について	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会	茨城県庁舎内における風しん集団発生事例の概要について	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会	茨城県で分離された <i>Campyobacter jejuni</i> (<i>C. jejuni</i>) における Lipooligosaccharide (LOS) class 解析	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会	2012/2018 シーズンの茨城県内におけるノロウイルスの分子疫学	第 52 回茨城県公衆衛生獣医師協議会	二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	第 47 回茨城県食品衛生業務業績発表大会	二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	全国食品衛生監視員協議会第 59 回関東ブロック研修大会	茨城県における急性脳炎の病原体検索に関する取り組みと検出状況	第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会	茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について	第 78 回日本公衆衛生学会総会	結核菌分子疫学解析による地域内感染経路把握への取り組み	二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	令和元年度全国食品衛生監視研修会	2012/2018 シーズンの茨城県内におけるノロウイルスの分子疫学	平成 30 年度関東・東京合同地区獣医三学会	ヒトパレコウイルス 3 型カプシドタンパク質 VPO に対するモノクローナル抗体の作製及び特異的検出法の構築	第 62 回日本感染症学会中日本地方会学術集会	食品に含まれるヒスタミンの迅速分析法の検討	第 30 回茨城県薬剤師学術大会	茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について	令和元年度茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議	精神科病院結核集団感染事例における全ゲノム解析の実施	第 31 回日本臨床微生物学会総会・学術集会	茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について	令和元年度保健と福祉の事例発表会	茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) の検査実施状況について	小児の重症呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析について	茨城県内の VNTR 型別実施状況 ～外国籍患者由来を中心に～	令和元年度結核対策推進担当者連絡会議	原着論文・機関誌等	Variation of human norovirus G II genotypes detected in Ibaraki, Japan, during 2012-2018. Gut Pathogens. Motoya T, Umezawa M, Saito A, Goto K, Doi I, Fukaya S, Nagata N, Ikeda Y, Okayama K, Aso J, Matsushima Y, Ishioka T, Ryo A, Sasaki N, Katayama K, Kimura H. May 2019	Molecular Evolution of the Protease Region in Norovirus Genogroup II. Frontiers in Microbiology. (共著) Ozaki K, Matsushima Y, Nagasawa K, Aso J, Saraya T, Yoshihara K, Murakami K, Motoya T, Ryo A, Kuroda M, Katayama K, Kimura H. January 2020	急性脳炎の病原体検索に関する地衛研の取り組み～茨城県～：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.40, No.6 (No.472) 後藤慶子 2019年6月	二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析：令和元年度茨城県県立試験研究機関成果集 本谷匠	茨城県における小児の呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析：令和元年度茨城県県立試験研究機関成果集 齋藤葵	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
		発表題目	学会・研修会等名																																												
茨城県内におけるムンプスウイルスの検出状況について	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部ウイルス研究部会																																														
茨城県庁舎内における風しん集団発生事例の概要について	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会																																														
茨城県で分離された <i>Campyobacter jejuni</i> (<i>C. jejuni</i>) における Lipooligosaccharide (LOS) class 解析	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部細菌研究部会																																														
2012/2018 シーズンの茨城県内におけるノロウイルスの分子疫学	第 52 回茨城県公衆衛生獣医師協議会																																														
二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	第 47 回茨城県食品衛生業務業績発表大会																																														
二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	全国食品衛生監視員協議会第 59 回関東ブロック研修大会																																														
茨城県における急性脳炎の病原体検索に関する取り組みと検出状況	第 68 回日本感染症学会東日本地方会学術集会																																														
茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について	第 78 回日本公衆衛生学会総会																																														
結核菌分子疫学解析による地域内感染経路把握への取り組み																																															
二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析	令和元年度全国食品衛生監視研修会																																														
2012/2018 シーズンの茨城県内におけるノロウイルスの分子疫学	平成 30 年度関東・東京合同地区獣医三学会																																														
ヒトパレコウイルス 3 型カプシドタンパク質 VPO に対するモノクローナル抗体の作製及び特異的検出法の構築	第 62 回日本感染症学会中日本地方会学術集会																																														
食品に含まれるヒスタミンの迅速分析法の検討	第 30 回茨城県薬剤師学術大会																																														
茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について	令和元年度茨城県エイズ治療拠点病院等連絡会議																																														
精神科病院結核集団感染事例における全ゲノム解析の実施	第 31 回日本臨床微生物学会総会・学術集会																																														
茨城県における梅毒患者の実態調査に関する研究について	令和元年度保健と福祉の事例発表会																																														
茨城県におけるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) の検査実施状況について																																															
小児の重症呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析について																																															
茨城県内の VNTR 型別実施状況 ～外国籍患者由来を中心に～	令和元年度結核対策推進担当者連絡会議																																														
原着論文・機関誌等																																															
Variation of human norovirus G II genotypes detected in Ibaraki, Japan, during 2012-2018. Gut Pathogens. Motoya T, Umezawa M, Saito A, Goto K, Doi I, Fukaya S, Nagata N, Ikeda Y, Okayama K, Aso J, Matsushima Y, Ishioka T, Ryo A, Sasaki N, Katayama K, Kimura H. May 2019																																															
Molecular Evolution of the Protease Region in Norovirus Genogroup II. Frontiers in Microbiology. (共著) Ozaki K, Matsushima Y, Nagasawa K, Aso J, Saraya T, Yoshihara K, Murakami K, Motoya T, Ryo A, Kuroda M, Katayama K, Kimura H. January 2020																																															
急性脳炎の病原体検索に関する地衛研の取り組み～茨城県～：病原微生物検出情報 (IASR) Vol.40, No.6 (No.472) 後藤慶子 2019年6月																																															
二枚貝が保有する下痢症ウイルスの把握と疫学解析：令和元年度茨城県県立試験研究機関成果集 本谷匠																																															
茨城県における小児の呼吸器感染症に關与するウイルス遺伝子の網羅解析：令和元年度茨城県県立試験研究機関成果集 齋藤葵																																															
5) 外部人材育成・教育活動	A	<p>○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成</p> <p>○保健所及び医療機関等を対象に「ゆうパックによる検体送付のための研修会」等の技術的指導や、外部講師を招聘し「麻しんに関する研修会」や「新型コロナウイルス感染症対策研修会」を開催し、専門的知識及び最新の情報を提供した。</p> <p>【実績】保健所等への専門的研修会：10回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 31 年度健康増進、がん対策、難病対策、感染症・健康危機管理関係保健所担当課長等会議</td> <td>保健所職員</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会(水戸)</td> <td>医療機関、保健所担当者</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>平成元年度感染症対策に関する保健所等新任担当者会議</td> <td>保健所職員</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>令和元年度新規採用養護教諭研修講座</td> <td>新規採用養護教諭</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>麻しんに関する研修会</td> <td>衛生研究所職員、保健所職員</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>令和元年度水道水測定分析外部精度管理</td> <td>水道事業者、検査機関</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>令和元年度茨城県感染症対策委員会</td> <td>医療機関、保健所職員</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>令和元年度結核対策推進担当者連絡会議</td> <td>医療機関、保健所職員</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>令和元年度いばらき予防医学プラザ業績発表会・特別講演会</td> <td>行政担当者、保健所職員</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス感染症対策研修会</td> <td>衛生研究所職員、保健所職員</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>	研修会・講座名	対象者等	参加者数	平成 31 年度健康増進、がん対策、難病対策、感染症・健康危機管理関係保健所担当課長等会議	保健所職員	60	ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会(水戸)	医療機関、保健所担当者	37	平成元年度感染症対策に関する保健所等新任担当者会議	保健所職員	24	令和元年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	27	麻しんに関する研修会	衛生研究所職員、保健所職員	43	令和元年度水道水測定分析外部精度管理	水道事業者、検査機関	12	令和元年度茨城県感染症対策委員会	医療機関、保健所職員	58	令和元年度結核対策推進担当者連絡会議	医療機関、保健所職員	25	令和元年度いばらき予防医学プラザ業績発表会・特別講演会	行政担当者、保健所職員	53	新型コロナウイルス感染症対策研修会	衛生研究所職員、保健所職員	28	A	○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成										
研修会・講座名	対象者等	参加者数																																													
平成 31 年度健康増進、がん対策、難病対策、感染症・健康危機管理関係保健所担当課長等会議	保健所職員	60																																													
ゆうパックによる検体送付のための新規担当者研修会(水戸)	医療機関、保健所担当者	37																																													
平成元年度感染症対策に関する保健所等新任担当者会議	保健所職員	24																																													
令和元年度新規採用養護教諭研修講座	新規採用養護教諭	27																																													
麻しんに関する研修会	衛生研究所職員、保健所職員	43																																													
令和元年度水道水測定分析外部精度管理	水道事業者、検査機関	12																																													
令和元年度茨城県感染症対策委員会	医療機関、保健所職員	58																																													
令和元年度結核対策推進担当者連絡会議	医療機関、保健所職員	25																																													
令和元年度いばらき予防医学プラザ業績発表会・特別講演会	行政担当者、保健所職員	53																																													
新型コロナウイルス感染症対策研修会	衛生研究所職員、保健所職員	28																																													

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																																																																
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																																																															
i) 県民に 対して 提供 する 業 務		<p>○ 研修生の受け入れでは、主に医療関係の学生を受け入れ、社会医学実習や地域保健実習に係る研修を実施した。</p> <p>【実績】 ・学生等への教育活動：10回(30名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修会・講座名</th> <th>対象者等</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生の社会医学実習</td> <td>筑波大学医学群医学類 4年</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>杏林大学生研修</td> <td>杏林大学保健学部臨床検査技術学科 4年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医学生の社会医学実習</td> <td>筑波大学医学群医学類 4年</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医研修</td> <td>筑波大学附属病院研修医、県立中央病院研修医</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医研修</td> <td>県立中央病院研修医</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>茨城県庁インターンシップ</td> <td>明治薬科大学、東北大学、東京薬科大学、星薬科大学、筑波大学</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>VPcamp(家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ)</td> <td>日本大学 4年、日本獣医生命科学大学 5年</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医研修</td> <td>筑波大学附属病院研修医</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>社会医学専門医等研修</td> <td>筑波大学社会医学専門医の専攻医研修生、つくば保健所嘱託医、筑波大学大学院</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>臨床研修医研修</td> <td>県立中央病院研修医</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	研修会・講座名	対象者等	参加者数	医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6	杏林大学生研修	杏林大学保健学部臨床検査技術学科 4年	1	医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	7	臨床研修医研修	筑波大学附属病院研修医、県立中央病院研修医	2	臨床研修医研修	県立中央病院研修医	1	茨城県庁インターンシップ	明治薬科大学、東北大学、東京薬科大学、星薬科大学、筑波大学	6	VPcamp(家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ)	日本大学 4年、日本獣医生命科学大学 5年	2	臨床研修医研修	筑波大学附属病院研修医	1	社会医学専門医等研修	筑波大学社会医学専門医の専攻医研修生、つくば保健所嘱託医、筑波大学大学院	3	臨床研修医研修	県立中央病院研修医	1																																
	研修会・講座名	対象者等	参加者数																																																																
医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	6																																																																	
杏林大学生研修	杏林大学保健学部臨床検査技術学科 4年	1																																																																	
医学生の社会医学実習	筑波大学医学群医学類 4年	7																																																																	
臨床研修医研修	筑波大学附属病院研修医、県立中央病院研修医	2																																																																	
臨床研修医研修	県立中央病院研修医	1																																																																	
茨城県庁インターンシップ	明治薬科大学、東北大学、東京薬科大学、星薬科大学、筑波大学	6																																																																	
VPcamp(家畜衛生・公衆衛生獣医師インターンシップ)	日本大学 4年、日本獣医生命科学大学 5年	2																																																																	
臨床研修医研修	筑波大学附属病院研修医	1																																																																	
社会医学専門医等研修	筑波大学社会医学専門医の専攻医研修生、つくば保健所嘱託医、筑波大学大学院	3																																																																	
臨床研修医研修	県立中央病院研修医	1																																																																	
6) 広報・普及啓発	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 感染症情報センター ・感染症発生動向調査事業に基づき、感染症の情報を日々収集・解析し、週報及び月報としてホームページに掲載し、情報提供を行った。 ・インフルエンザ流行情報を、流行期(4月及び11～3月)にホームページに毎週掲載した。 ・蚊のモニタリング調査結果については、定期的に情報を更新し、注意喚起を行った。(8月～10月) ・流行警報が発令された手足口病(7月)や、新型コロナウイルス感染症(2月)について、ホームページで情報提供を行った。また、2月28日より新型コロナウイルス感染症に係る検査状況をホームページへ掲載し、平日に毎日更新している。 ・県のホームページ閲覧ランキングで、12月、インフルエンザ流行情報のページが1位、感染症情報センターのページが3位となった。県民ニーズの高い感染症関連ホームページの更新に努めた。 ・いばらき国体の開催に伴う強化サーベイランスを実施(9/20～10/11)、感染症に係る日報をまとめて関係機関へ発信した。</p> <p>【実績】 ホームページ掲載公衆衛生情報：56回 (県民への広報：8回、流行情報：48回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>掲載タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(1回) ・麻疹患者報告数が増加しています ・海外における感染症予防</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>・ノロウイルスに注意!! ・海外においてエボラ出血熱が発生しています ・風しん抗体検査について</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>・手足口病の流行警報が発令中です!</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第1報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第2報)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第3報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第4報)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第5報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第6報) ・ダニ媒介感染症について</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(3回)</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(4回)</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(5回)</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(4回) ・新型コロナウイルス感染症について ・新型コロナウイルス感染症に係る検査状況(1回)</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>・インフルエンザ流行情報(3回) ・新型コロナウイルス感染症に係る検査状況(21回)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 県民意識の醸成 ・社会福祉施設等や食品衛生関係者等を対象に出勤講座を実施した。 ・一般県民向けの当研究所業務紹介パンフレットを活用し、広報した。 ・健康プラザやイベント会場でパネルを展示し、県民に分かりやすく啓発した。 ・新規事業「薬剤耐性(AMR)対策に係る普及啓発」について、ホームページの開設(7回更新)、啓発パネルの作成・展示、啓発資料(リーフレット、ポスター)の配付・展示、ラジオ番組での広報(2回)などを行った。</p> <p>【実績】 出勤講座・研修会等：9回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出勤講座・研修会名</th> <th>依頼者</th> <th>場所</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法</td> <td>土浦保健所管内食生活改善推進員協議会</td> <td>石岡市</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>施設における感染症予防対策について(介護サービス施設・事業所等管理者研修会)</td> <td>県長寿福祉課</td> <td>水戸市</td> <td rowspan="2">1,601</td> </tr> <tr> <td>施設における感染症予防対策について(介護サービス施設・事業所等管理者研修会)</td> <td>県長寿福祉課</td> <td>水戸市</td> </tr> <tr> <td>施設における感染症予防対策について(老人ホーム等施設長会議)</td> <td>県長寿福祉課</td> <td>水戸市</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>食中毒と予防方法</td> <td>水戸ブラザホテル</td> <td>水戸市</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>施設における感染症予防対策について(有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅施設長会議)</td> <td>県長寿福祉課</td> <td>笠間市</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>食中毒と予防方法</td> <td>(公財)茨城県学校給食会</td> <td>水戸市</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法</td> <td>社会福祉法人 茨城補成会 澗沼学園</td> <td>茨城町</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>感染症の基礎と予防方法</td> <td>常総市役所 保健福祉部 保健推進課</td> <td>常総市</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	月	掲載タイトル	4月	・インフルエンザ流行情報(1回) ・麻疹患者報告数が増加しています ・海外における感染症予防	6月	・ノロウイルスに注意!! ・海外においてエボラ出血熱が発生しています ・風しん抗体検査について	7月	・手足口病の流行警報が発令中です!	8月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第1報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第2報)	9月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第3報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第4報)	10月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第5報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第6報) ・ダニ媒介感染症について	11月	・インフルエンザ流行情報(3回)	12月	・インフルエンザ流行情報(4回)	1月	・インフルエンザ流行情報(5回)	2月	・インフルエンザ流行情報(4回) ・新型コロナウイルス感染症について ・新型コロナウイルス感染症に係る検査状況(1回)	3月	・インフルエンザ流行情報(3回) ・新型コロナウイルス感染症に係る検査状況(21回)	出勤講座・研修会名	依頼者	場所	参加人数	感染症の基礎と予防方法	土浦保健所管内食生活改善推進員協議会	石岡市	49	施設における感染症予防対策について(介護サービス施設・事業所等管理者研修会)	県長寿福祉課	水戸市	1,601	施設における感染症予防対策について(介護サービス施設・事業所等管理者研修会)	県長寿福祉課	水戸市	施設における感染症予防対策について(老人ホーム等施設長会議)	県長寿福祉課	水戸市	208	食中毒と予防方法	水戸ブラザホテル	水戸市	64	施設における感染症予防対策について(有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅施設長会議)	県長寿福祉課	笠間市	168	食中毒と予防方法	(公財)茨城県学校給食会	水戸市	81	感染症の基礎と予防方法	社会福祉法人 茨城補成会 澗沼学園	茨城町	26	感染症の基礎と予防方法	常総市役所 保健福祉部 保健推進課	常総市	15	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
月	掲載タイトル																																																																		
4月	・インフルエンザ流行情報(1回) ・麻疹患者報告数が増加しています ・海外における感染症予防																																																																		
6月	・ノロウイルスに注意!! ・海外においてエボラ出血熱が発生しています ・風しん抗体検査について																																																																		
7月	・手足口病の流行警報が発令中です!																																																																		
8月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第1報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第2報)																																																																		
9月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第3報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第4報)																																																																		
10月	・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第5報) ・茨城県における蚊のモニタリング調査について(第6報) ・ダニ媒介感染症について																																																																		
11月	・インフルエンザ流行情報(3回)																																																																		
12月	・インフルエンザ流行情報(4回)																																																																		
1月	・インフルエンザ流行情報(5回)																																																																		
2月	・インフルエンザ流行情報(4回) ・新型コロナウイルス感染症について ・新型コロナウイルス感染症に係る検査状況(1回)																																																																		
3月	・インフルエンザ流行情報(3回) ・新型コロナウイルス感染症に係る検査状況(21回)																																																																		
出勤講座・研修会名	依頼者	場所	参加人数																																																																
感染症の基礎と予防方法	土浦保健所管内食生活改善推進員協議会	石岡市	49																																																																
施設における感染症予防対策について(介護サービス施設・事業所等管理者研修会)	県長寿福祉課	水戸市	1,601																																																																
施設における感染症予防対策について(介護サービス施設・事業所等管理者研修会)	県長寿福祉課	水戸市																																																																	
施設における感染症予防対策について(老人ホーム等施設長会議)	県長寿福祉課	水戸市	208																																																																
食中毒と予防方法	水戸ブラザホテル	水戸市	64																																																																
施設における感染症予防対策について(有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅施設長会議)	県長寿福祉課	笠間市	168																																																																
食中毒と予防方法	(公財)茨城県学校給食会	水戸市	81																																																																
感染症の基礎と予防方法	社会福祉法人 茨城補成会 澗沼学園	茨城町	26																																																																
感染症の基礎と予防方法	常総市役所 保健福祉部 保健推進課	常総市	15																																																																

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価																				
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項																			
i) 県民 に 対 し て 提 供 す る 業 務		・イベント等でのパネル展示：延べ14テーマ																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>展示場所・イベント等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生肉を調理するときの注意点</td> <td rowspan="10">健康プラザ</td> </tr> <tr> <td>手足口病が流行しています</td> </tr> <tr> <td>食品と水の放射性物質試験検査</td> </tr> <tr> <td>海外における感染症予防</td> </tr> <tr> <td>身近な寄生虫～アニサキス～</td> </tr> <tr> <td>ノロウイルスに注意！！</td> </tr> <tr> <td>茨城県衛生研究所の食品添加物検査について</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性菌 知ってますか？</td> </tr> <tr> <td>レジオネラ症</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザウイルスについて</td> </tr> <tr> <td>ヒスタミンによる食中毒</td> <td rowspan="5">いばらきのくすり展 (イオンモール水戸内原)</td> </tr> <tr> <td>梅毒が増加しています！</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品の試験検査</td> </tr> <tr> <td>薬剤耐性菌知ってますか？</td> </tr> <tr> <td>(配布：衛生研究所業務紹介パンフレット)</td> </tr> </tbody> </table>			タイトル	展示場所・イベント等	生肉を調理するときの注意点	健康プラザ	手足口病が流行しています	食品と水の放射性物質試験検査	海外における感染症予防	身近な寄生虫～アニサキス～	ノロウイルスに注意！！	茨城県衛生研究所の食品添加物検査について	薬剤耐性菌 知ってますか？	レジオネラ症	インフルエンザウイルスについて	ヒスタミンによる食中毒	いばらきのくすり展 (イオンモール水戸内原)	梅毒が増加しています！	後発医薬品の試験検査	薬剤耐性菌知ってますか？	(配布：衛生研究所業務紹介パンフレット)
		タイトル	展示場所・イベント等																				
		生肉を調理するときの注意点	健康プラザ																				
		手足口病が流行しています																					
		食品と水の放射性物質試験検査																					
		海外における感染症予防																					
		身近な寄生虫～アニサキス～																					
		ノロウイルスに注意！！																					
		茨城県衛生研究所の食品添加物検査について																					
		薬剤耐性菌 知ってますか？																					
		レジオネラ症																					
		インフルエンザウイルスについて																					
		ヒスタミンによる食中毒	いばらきのくすり展 (イオンモール水戸内原)																				
		梅毒が増加しています！																					
後発医薬品の試験検査																							
薬剤耐性菌知ってますか？																							
(配布：衛生研究所業務紹介パンフレット)																							

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価		評価委員会評価	
	評価	計画達成の状況	評価	評価における特記事項
ii) 業務の質的向上・効率化のため に実施する方策	1) 全体マネジメント	AA ○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 ア 検査機器の整備 ○更新計画の見直しを行うとともに、計画に基づき機器整備を実施した。 ・リアルタイムPCR装置、3×32wel サーマルサイクラー、高感度ゲル撮影装置、高速冷却遠心機、スーパーフリーザー等 イ 品質保証体制の整備 (ア) 感染症法に係る検査体制の整備 ・感染症法に係る病原体検査の信頼性確保のための内部監査を受けた。 (イ) 食品GLPに係る検査体制の整備 ・標準作業書（食品中残留農薬試験法、食品添加物（合成保存料））を改訂し、業務に反映するとともに、試験検査体制について関係法令等に基づく定期外部監査を受けた。 (ウ) 医薬品PIC/Sに係る体制の整備 ・試験検査 SOP（ロサルタンカリウム錠定量試験、バルサルタン錠溶出試験、ピオグリタゾン塩酸塩錠溶出試験、ナフトビジル口腔内崩壊錠溶出試験）の追加制定をした。 ウ 職員間における情報共有及び所内での定期的な進捗管理 ・月2回開催している所内部長会議や各部門で情報を共有し、業務等の進捗状況について確認した。 ・感染症及び食中毒に係る情報共有・意見交換のため、3部合同のミーティングを月2回行った。 ・中堅職員（主任）と所長の意見交換を月1回行い、職場環境の見直し・改善を行った。 エ 機関評価委員会及び調査研究・企画評価委員会による適正な評価 ・機関評価委員会（7/19実施） ・調査研究企画・評価委員会（7/19実施） 調査研究では、完了報告2題、中間報告3題及び新規研究1題について評価を受け、研究成果の普及や調査研究事業計画の見直し等に反映させた。	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現
	2) 県民ニーズの把握	A ○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成 ・会議や研修会等の場を活用して、保健所及び関係機関と意見交換会を行い、年度計画や業務の進め方、食中毒・苦情対応の実態等を把握した。 ・いばらき予防医学プラザ（県立健康プラザ、水戸保健所、精神保健福祉センター及び衛生研究所）による業績発表会を開催し、調査研究等事業内容の相互理解と県民ニーズの把握充実に努めた。 ・出前講座や研修会でアンケート調査を実施し、県民ニーズの把握に努めた。 ・茨城県薬剤耐性対策推進会議を発足し、本県の AMR 対策活動について委員（県内の感染症専門家等）と議論し、現場ニーズを把握した。また、いばらきネットモニターアンケートを実施し、抗菌薬等に関する県民の認識を調査した。 【実績】 ・意見交換会の実施：10回 ・食品衛生担当会議 ・食品衛生担当者研修会 ・薬事担当会議 ・感染症等関係保健所担当課長等会議 ・感染症対策保健所等新任担当会議 ・衛生課長等会議生活衛生部会 ・衛生課長等会議業務部会 ・業績発表会 ・茨城県薬剤耐性対策推進会議（2回） ・出前講座・研修会等：9回 （詳細は、上記 6) 広報・普及啓発 (2) 県民意識の醸成と同じ。）	A	○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成
	3) 他機関との連携	AA ○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現 調査研究業務の活性化及び試験検査の突発的な対応等に備えた体制の構築・強化に努めた。 ○ 調査研究に係る研究機関等との連携 県立医療大学医科学センター等との共同研究5題、研究協力7題を行った。	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現

研究区分	研究テーマ(研究代表者等)	連携機関	期間(年度)	担当部
共同研究	連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地方包括的な感染症対策（衛生研究所 永田紀子）	県立医療大学医科学センター（桜井直美）	H29～R1	企画情報部
	病原性ウイルスのプロテオミクス解析（衛生研究所 後藤慶子）	横浜市立大学医学部微生物学（梁 明秀）	H29～R2	ウイルス部
	成人呼吸器疾患における原因微生物の同定に関する研究（衛生研究所 本谷匠、後藤慶子）	杏林大学医学部呼吸器内科（血谷健）	H30～R1	ウイルス部
	野生動物における人獣共通感染症の網羅的病原体解析に関する研究（衛生研究所 後藤慶子）	群馬バース大学大学院保健科学研究科（木村博一）	H30～R4	ウイルス部
	茨城県内におけるカルバペネム耐性菌等の実態調査に関する研究（衛生研究所 相原義之）	国立感染症研究所 県立中央病院 日立総合病院 JAとりで総合医療センター 県立医療大学付属病院 土浦協同病院 筑波メディカルセンター病院	R1～R3	細菌部
研究協力	下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に関する研究（木村博一）	国立感染症研究所 感染症疫学センター	H29～R1	ウイルス部
	下痢症ウイルス感染症の分子疫学および流行予測に関する研究（木村博一）村上		H29～R1	細菌部
	病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）村上		R1～R3	細菌部
	病原体ゲノミクスを基礎とした病原体検索システムの利活用に関する研究（黒田誠）木村		R1～R3	ウイルス部
	食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究（鈴木津）		東京都健康安全研究センター	H30～R2

評価項目 (年度実施計画)	衛生研究所の自己評価				評価委員会評価								
	評価	計画達成の状況			評価	評価における特記事項							
ii) 業務の質的向上・効率化のための実施する方策		<table border="1"> <tr> <td>ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(大石和徳)</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第三部</td> <td>H30～R2</td> <td>ウイルス部</td> </tr> <tr> <td>新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究(清水博之)猿木班</td> <td>国立感染症研究所 ウイルス第二部</td> <td>R1～R3</td> <td>ウイルス部</td> </tr> </table>	ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(大石和徳)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	H30～R2	ウイルス部	新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究(清水博之)猿木班	国立感染症研究所 ウイルス第二部	R1～R3	ウイルス部			
ムンプスウイルスの分子疫学的解析に関する研究(大石和徳)	国立感染症研究所 ウイルス第三部	H30～R2	ウイルス部										
新興・再興エンテロウイルス感染症の検査・診断・治療・予防法の開発に向けた研究(清水博之)猿木班	国立感染症研究所 ウイルス第二部	R1～R3	ウイルス部										
4) 調査研究費の獲得	A	<p>○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成</p> <p>2調査研究事業について、茨城県調査研究企画・評価委員会の意見をいただいて研究内容の拡充・見直しを行い、事業を継続するとともに、新たに機器整備事業の外部資金(特別電源所在県科学技術振興事業補助金)を獲得した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 試験研究事業 2事業 機器整備事業 1事業 	A	○質・量の両面において概ね平成31(令和元)年度計画を達成									
5) 内部人材育成	AA	<p>○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現</p> <p>(1) 研修・交流機会の確保 年1回以上、技術職員全員が計画的に外部の研修に参加した。また、参加者は、研修内容について伝達講習を行い、一層の資質向上に努めた。 (主な研修会) ○技術研修 国立保健医療科学院短期研修(細菌研修、感染症集団発生対策研修)、希少感染症診断技術研修会、次世代シーケンサー解析、薬剤耐性菌検査、包装・運搬講習会、指定薬物分析研修会議、GCMS操作講習等 ○学会 日本感染症学会、日本公衆衛生学会、日本食品微生物学会、日本ウイルス学会、日本食品衛生学会、日本結核病学会、日本環境感染症学会、日本臨床微生物学会等 ○地方衛生研究所全国協議会 関東甲信静支部ウイルス研修会(初級編)、公衆衛生情報研究協議会、全国衛生化学技術協議会、全国衛生微生物技術協議会等</p> <p>(2) 修学機会の確保 平成29年度より、大学院後期博士課程に職員を1名在学させている。(継続)</p> <p>(3) 所内研修 所内各部署で内部研修を実施し、研鑽できる環境整備に努めるとともに、若手研究員に対しては、確実に業務を遂行できるよう専属のトレーナーを配置し、計画検査や行政依頼検査に先立ち、年間を通じた実務研修(OJT)を実施した。 また、研修会・学会等の参加者が伝達講習を行い、情報共有した。</p> <p>【実績】 ○外部専門家を招聘した研修会 4回 ・「麻しんに関する研修会」群馬パース大学大学院保健科学研究科 木村博一先生 ・「病原体等安全管理所内研修会」 NPOバイオメディカルサイエンス研究会 前川秀彰先生、杉山和良先生、清水敏克先生 ・「健康危機に学ぶ～これまでの経験から～」茨城県水戸保健所 土井幹雄先生 ・「新型コロナウイルス感染症対策研修会」防衛医科大学校防衛医学研究センター 加来浩器先生 ○研究者倫理に関する研修会等 1回 ・新任・復帰研究職員対象所内研修 ○業績発表会 1回(演題数:12)</p> <p>(4) 精度管理の実施及び参加 (結果はすべて適合) (主な外部精度管理) ○厚生労働省が実施する感染症病原体外部精度管理事業 インフルエンザウイルス 5検体、麻疹・風疹ウイルス 8検体、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 8検体 ○厚生労働省が実施する医薬品試験の精度管理事業プロブコール錠 1検体 ○地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部が実施する精度管理(有毒植物) 1検体 ○(一財)食品薬品安全センターが実施する食品衛生外部精度管理調査(E.coli、一般細菌数、黄色ブドウ球菌、サルモネラ属菌、大腸菌群、食品添加物、残留農薬) 11検体 ○厚生労働科学研究(新興再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)「食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究」腸管出血性大腸菌 4検体 ○2019年度厚労科研費「国内のサーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究」分担研究「抗酸菌型別分析における制度保証」結核菌 5検体 ○内部精度管理は、計画検査や行政依頼検査に先立ち、随時実施した。</p>	AA	○質・量の両面において目標を超えた優れたパフォーマンスを実現									